

# 平成28年熊本地震発生 最大震度7 菊陽町で震度6弱

町では4月14日、震度5強を観測し4月16日には震度6弱が発生。一部の地域でライフラインが断たれ、住宅などの家屋に被害をもたらしました。

## 全力で復旧に取り組む

4月14日午後9時26分および4月16日午前1時25分をはじめとした、4月14日以降に相次いで発生した「平成28年熊本地震」により、本町をはじめ、熊本県や九州各地で甚大な被害を受けました。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

この熊本地震は単発の地震ではなく、大きな揺れが連続し、750回以上にのぼりました。全国でもまれな地震と聞き及んでおり、私も初めて経験する、本当に恐怖を感じた地震でした。

町には、幸いなことに死亡者はいませんが、幸いありませんでしたが、けがをされたかたはたくさんいらっしゃいますし、住宅や

車庫などの被害も数えきれません。

町では、避難所の開設や飲料水、食料の供給などに関係機関の協力を得て取り組んできました。今後も被災された皆さまへの支援対策を速やかに行ってまいりますので、今しばらく頑張ってくださいたいと思います。

最後になりますが、今回の災害に関し、さまざまな分野でご支援、ご協力いただきました全ての皆さまに感謝いたします。

平成28年5月  
菊陽町長 後藤 三雄



1 棚が倒れ、冊子が散乱した役場。天井の壁も剥がれ落ちた(4月16日午前3時33分) 2 震度6弱の地震で役場前に避難してきた町民。寒さに震え肩を寄せ合う(4月16日午前3時47分) 3 4月16日、庁舎内が使えず、正面玄関前に設置された災害対策本部。避難所設置の記録を見つめる町民 4 選果場の屋根が崩れ、瓦も割れた 5 止まった時計



1 戸次の道路のひび割れ 2 武蔵ヶ丘小学校の避難所。約500人が毛布などに身を包み、夜を過ごす 3 地震により崩れた家屋 4 家の壁が倒れ、むき出しになったトイレ 5 6 4月17日の午前9時ごろ、約500人が自衛隊の給水車に並んだ 7 避難所を訪れた後藤町長

